

第84回 野球大会 扶桑電機が連覇



平成28年4月30日（土）から5月2日（月）までの3日間にわたり、明治神宮外苑軟式球場において、電気新聞・電設工業健康保険組合・日刊建設工業新聞社・日刊建設産業新聞社・日刊建設通信新聞社の協賛により、第84回野球大会を開催し、扶桑電機株式会社が2年連続4度目の優勝を飾った。

この大会は昭和30年に第1回大会が行われ、昭和51年までは年2回、それ以降は年1回開催されています。今大会は31チームが参加して、連日激戦が繰り広げられました。そこで、野球部世話人4名が大会を振り返ってみました。

野球部代表世話人 栗崎 拓也（栗原工業株式会社）



選手宣誓！



江川会長による始球式



野球を愛する

世話人の座談会 2016

世話人 A (以下 A) 世話人 B (以下 B) 世話人 C (以下 C) 世話人 D (以下 D) 事務局 J (以下 J)

A 天気が3日間晴れてよかったよね。

B 今年も子供用のお菓子が好評だったね。

J トーナメント表を印刷した参加賞のうちわも好評でした。

C 結果を書き込んでいる人もいたね～。

J 今年は31チームが参加し、東邦電気工業が初出場でした。

D 来年も新たに参加希望チームがあるみたい。

J 今回のホームラン数は44本で、チーム最多本塁打は日比谷総合設備が7本、うち川崎健太さんが個人最多の3本でした。

A リストバンドも好評だけど、新しいホームラン賞も考えなくちゃいけないかな？

C 応援席で酔って相手チームへのヤジがひどくて審判に注意されている会社があったね。

B 来年は自分のチームを盛り上げる声援にしてほしいよね。

D 三英電業、東光電気工事、日本リーテックの優勝経験チームが初戦敗退して、だいぶ勢力図が変わってきたね。

B 3年連続決勝となった、扶桑電機と日本電設工業は戦力が充実しているね。

A 決勝は試合中盤まで0対0で、緊迫した展開だったけど7回に日本電設工業が4点先制した時は試合が決まったと思ったよね。

D でも、すぐに扶桑電機が満塁ホームランで追いついたのはすごかったね。

B あれで一気に流れが変わったよね。

(最後に)

A 今年は特にいい投手がたくさんいたよね。

C 浅海電気の投手は、球早かったよね。

D 来年はスピードガンで測ってみたいね。(笑)





ホームラン賞



会社名	氏名	背番号	試合番号	会社名	氏名	背番号	試合番号
浅海電気(株)	鐘ヶ江 力矢 (1)	55	22	日本電設工業(株)	金城 秋仁	5	20
浅海電気(株)	鐘ヶ江 力矢 (2)	55	27	日本電設工業(株)	佐々木 貴広 (1)	2	6
宇田川電気工事(株)	小形 和弘	25	14	日本電設工業(株)	佐々木 貴広 (2)	2	20
宇田川電気工事(株)	山崎 晃彦	10	14	日本電設工業(株)	下村 拓海	1	20
沖ウィンテック(株)	澁谷 洸希	2	1	日本電設工業(株)	豊原 義基	6	6
沖ウィンテック(株)	高橋 孝治	4	1	日比谷総合設備(株)	安齋 里音	2	23
(株)関電工	有馬 純成	2	22	日比谷総合設備(株)	川崎 健太 (1)	26	23
(株)関電工	石田 茂樹	5	12	日比谷総合設備(株)	川崎 健太 (2)	26	23
(株)関電工	杉本 湧也	6	12	日比谷総合設備(株)	川崎 健太 (3)	26	27
(株)関電工	鈴木 哲	24	12	日比谷総合設備(株)	五島 勇樹 (1)	18	15
(株)関電工	田崎 浩太郎	18	12	日比谷総合設備(株)	五島 勇樹 (2)	18	15
(株)関電工	渡部 英明	14	12	日比谷総合設備(株)	吉田 明生	7	23
(株)協和エクシオ	有村 勇斗	8	17	扶桑電機(株)	飯島 慶太	1	28
(株)協和エクシオ	小谷 厚樹	5	3	扶桑電機(株)	藤田 清徳	4	28
栗原工業(株)	勝又 崇仁	7	21	扶桑電機(株)	山中 辰洋 (1)	10	28
栗原工業(株)	菅 文隆	9	21	扶桑電機(株)	山中 辰洋 (2)	10	30
栗原工業(株)	笹部 光彦 (1)	15	10	(株)ミライト	朝倉 奨	11	18
栗原工業(株)	笹部 光彦 (2)	15	21	(株)ミライト	丸田 善博	14	18
住友電設(株)	影山 淳吾	24	9	(株)ミライト	宮澤 正一	10	5
東芝プラントシステム(株)	稲毛 義樹	12	8	(株)ユアテック	犬飼 広一	8	28
東芝プラントシステム(株)	小川 達也	25	8	(株)ユアテック	佐々木 直人	25	26
日本電設工業(株)	一元 祐斗	0	6	(株)ユアテック	鈴木 大介	4	19

※会社名五十音順



優勝インタビュー



優勝
監督



「昨年と同じカードで2連覇を達成できて、素直にうれしいです。会長、社長をはじめとして、野球ができる環境をつくってくれている仲間みんなに感謝したいと思います。先制されても選手が最後まであきらめなかったのが大きかったです。来年も全員で3連覇を目指したいと思います」

田中 弘純 監督

「日本電設さんとの試合はいつもとても緊張するのですが、とりあえず勝てて一安心しました。(同点の満塁ホームランの場面は)みんながつかないでくれたので、おもいきり振ったらいい結果につながりました。来年も一戦一戦大事に戦って、それが勝利につながったらいいなと思います」

山中 辰洋 選手

最優秀
選手賞





9人目で決着!? 同点じゃんけん



メジャーのスカウト!? も熱い視線 (笑)

決勝戦

平成28年5月2日(月) 試合開始10時00分(日の丸球場)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
扶桑電機(株)	0	0	0	0	0	0	0	4	2	6
日本電設工業(株)	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4

優勝	扶桑電機(株)
準優勝	日本電設工業(株)
三位	浅海電気(株)・(株)ユアテック
最優秀選手	山中 辰洋 (扶桑電機(株))
敢闘賞	篠原 恭介 (日本電設工業(株))

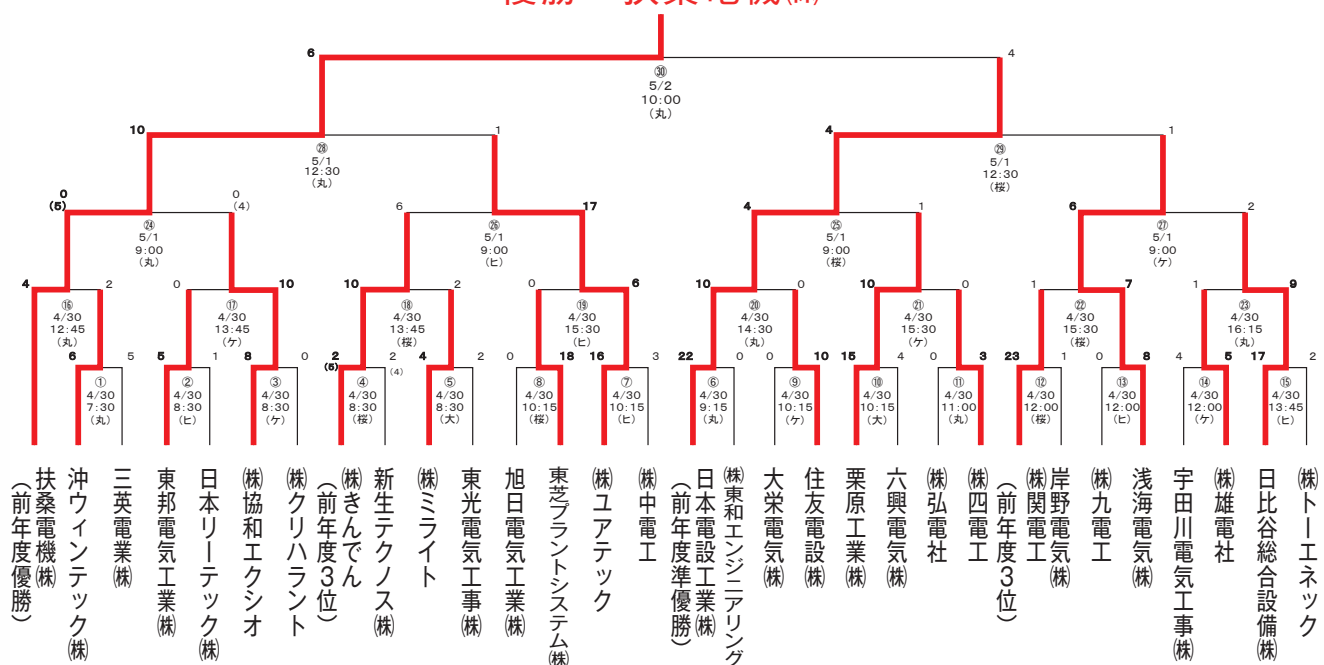
協会ホームページ
野球大会専用ページのお知らせ

野球部では、協会ホームページ内に野球大会専用ページを設け、過去の大会結果などを公開しています! 今大会から、決勝戦のインニング速報を始めました。



第84回 大会結果

優勝 扶桑電機(株)



※カッコ内の結果は、(引き分けのため)じゃんけんによる勝敗です。